

第 1384 例会

2月27日(火)「金沢ニューグランドホテル」にて通常例会が開催されました。

若林会長の挨拶はまず卓上に置いてある本について触れました。この本は久保 L が新しく上梓され、メンバーに贈呈された本で、経営者が多いライオンズメンバーにとって大変有意義な内容であると述べ、久保 L にお礼を述べられた。本日のゲストスピーチは石川県赤十字センター所長石原様でライオンズは赤十字社と関わりが深いその役割について知る良い機会なのでしっかり聞いて欲しいと挨拶をされた。

次に時期役員選挙について吉田指名委員長から案が提出され一括承認された。

各種報告事項では先日行われた新春書初め、かるた両大会の作品展示と表彰式の説明があり3月4日アトリオ大和で開催されるので協力を要請した。

本日のゲストスピーチ石原所長からは血液事業は「安全な輸血用血液を必ず医療機関に届ける」ことを理念としている。赤血球は21日、血小板輸血は4日以内が輸血の期限で毎日輸血事業を行わなければならない。献血ルームと献血バスで毎日120人分が必要である。近未来の課題として少子高齢化2027年には85万人不足するのではないかとと思われる、また大地震に対するリスク対応が必要、最後に ips からの血小板や赤血球の属性による役割の変化に対応が課題と述べられた。

献血は69才までできるが若者、学生に献血活動を理解してもらおう啓蒙活動をしている。今年の大雪では献血者が減り東海北陸ブロックで補って対応した。ライオンズクラブは献血活動に積極的に関わっ

ていただき大変感謝していると話された。

中村 L がテールツイスターとして登壇し例会が終了した

記事：林 昭夫 L



若林会長の挨拶



石川県赤十字血液センター塩原様